

岩 渕 貞 太 Teita IWABUCHI

「からだはみな踊る」という確信の下、舞踏や武術などのアプローチで身体が本来持っている不思議な力を探ります。身体を動かしているといつの間にか踊り出している。踊りたがっている自分の身体に出会いましょう。



Photo: Hideto Maezawa



Photo: Hideto Maezawa



プロフィール

振付家・ダンサー。玉川大学で演劇を専攻、並行して日本舞踊と舞踏も学ぶ。2007年より2015年まで故・室伏鴻の舞踏公演に出演、今日に及ぶ深い影響を受ける。2005年より「身体の構造」「空間や音楽と身体との相互作用」に着目した作品を創りはじめる。横浜ダンスコレクションEX2012にて、『Hetero』（共同振付：関かおり）が在日フランス大使館賞受賞。舞踏や武術をベースに日本人の身体と感性を生かし、生物学・脳科学等から触発された「恍惚身体論」開発。桜美林大学非常勤講師。DaBYレジデントアーティスト。

ホームページ <http://teita-iwabuchi.com/>
連絡先(担当) 岩渕貞太
住所 〒355-0316 埼玉県比企郡小川町角山114-2
電話番号 080-5440-7387
E-mail teita.iwabuchi@gmail.com
アーティスト在驻地 埼玉県比企郡小川町
アーティスト出身地 神奈川県横浜市栄区犬山町



Photo: Sakiko Nomura

活動歴

〈2009年〉坂あがりスカラシップ探検公演『タタタ』（振付・出演）@のげシャール
〈2010年〉『UNTITLED vol.1』（振付・出演 音楽：大谷能生）@STスポット
〈2014年〉『Conditions』（振付・出演 音楽：蓮沼執太）@森下スタジオC
〈2017年〉『DISCO』（振付・出演）Dance Bridges Festival参加（インド・コルカタ）
〈2023年〉『ALIEN MIRROR BALLISM』（振付・出演 音楽：額田大志）@吉祥寺シアター
〈2014年-2024年〉玉川大学芸術学部 非常勤講師
〈2021年〉桜美林大学芸術文化学群 非常勤講師

受賞歴

〈2012年〉横浜ダンスコレクションEX2012若手振付家のための在日フランス大使館賞（共同振付：関かおり）

ワークショップ歴

〈2020年〉パフォーマンス・キッズ・トーキョー（対象：小学3～中学3年生）主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、特定非営利活動法人 芸術家と子どもたち
〈2020年〉ゆるふわ体操（対象：60歳以上）主催：豊島区
〈2019年～2022年〉からだでおしゃべり（対象：3歳から就学前くらいまでの子どもとその家族）主催：特定非営利活動法人 芸術家と子どもたち

自主企画

〈2023年〉振付ワークショップ（対象：身体表現に興味のある方）身体研究稽古会 2017年から不定期（対象：身体表現に興味のある方）
身体感覚で中国古典を読む勉強会 2022年から不定期（対象：一般）

可能なワークショップ等のスタイル

アウトリーチ

●未就学児と親を対象とした親子ワークショップ、または幼稚園、保育園などでの子供ワークショップ

講師の動きを真似たり、親子で動きの真似っこをしたり、ヒモで気持ちを伝えて動いたり、体を粘土として互いに形を造形する「からだでねんど遊び」など、「からだでおしゃべり」というテーマで親も子どもも同じ土台で体を使って遊ぶ。

▶アシスタント：1名
▶参加適正人数：30名まで
▶実施時間：45～60分

小学生向けワークショップ

鏡合わせで動くワークや指や頭、お尻、背中など身体のあらゆる部分を使って文字を書く「からだでお習字」など、自分の名前やテーマに沿った言葉などからそれぞれの振りを作って発表する。

▶アシスタント：1～2名
▶参加適正人数：30名程度
▶実施時間：90分程度

65歳以上のシニア向けワークショップ

自身のメソッドから体操的な入り口で身体を動かし、気づかないうちに踊りを踊っているというプロセスを体験する。伸びをする気持ちよさ（網状身体）に身を任せると全身がまとまり身体が強くなることや、呼吸と共に動くことで自分や他人が気持ちよく動き出すことを体験する。最後には音楽をかけてみんなで一緒に踊る。

▶アシスタント：0～1名
▶参加適正人数：20名まで
▶実施時間：60～90分
▶必要機材：PCから音を出せる環境

公募ワークショップ

●身体表現に興味のある一般の方向けへの自身のメソッドのワークショップ

振付を覚えて練習するのではなく、自然と身体が動き出していつの間にか踊りを踊っているというプロセスを体験する。身体ワークを応用して参加者と短いシーンを作ってみる。高校生以上ダンス経験不問。

▶アシスタント：1名
▶参加適正人数：20名まで
▶実施時間：120～180分
▶必要機材：PCから音を出せる環境

この事業で可能な市民参加作品のスタイル

『エイリアン・ダンス・レボリューション』

「からだはみな踊る」がコンセプト。自分の中にある「踊りたがっている身体（エイリアン）」を引き出すメソッドと振付でシーンを作り、ミラーボールが回るダンスフロアさながらの作品世界で踊る。

▶上演時間：45～60分
▶出演者数：2人（登録アーティスト+アシスタント）（出演する市民は除く）

▶市民参加の形態：市民参加公演（クリエイションワークショップ参加者との協働作品）
▶クリエイションワークショップの参加（出演）人数・回数：10名程度・6～10回程度
▶同行スタッフ：舞台監督か照明スタッフいずれか1名
▶現地スタッフ：舞台監督1名・音響1名・照明1名

▶上演環境：
(1)会場の広さ・形状：9m×9m以上が望ましい（出演人数による）。形状は相談の上、対応可能。
(2)リノリウム：リノリウムが望ましいが絶対条件ではない。
(3)必要機材、舞台セット：ミラーボールが必要かもしれません。

この事業で可能な公演作品

『リバーズ・エッジ』

ダンサーとミュージシャンの即興パフォーマンス。

▶上演時間：45～60分
▶出演者数：登録アーティスト1人+ミュージシャン1名
▶同行スタッフ：舞台監督か照明スタッフいずれか1名
▶現地スタッフ：舞台監督1名・音響1名・照明1名

▶上演環境：
(1)会場の広さ・形状：特に指定なし。劇場でなくても可能。場所によってはミュージシャンなしバージョン上演可能。
(2)リノリウム：特に指定なし。
(3)必要機材、舞台セット：劇場にあるものを舞台美術として使用する可能性あり（相談）。

『ALIEN MIRROR BALLISM - other side-』

「人間も動物も、生命はみな踊る」。舞踏や武術、古今東西の舞踊の身体観のリサーチから作られた作品。現代に生きる私たちのこの身体が時代や場所を超えて変容していくエイリアンとして見立て、エイリアンたちのダンスフロアを作り出す。音楽は額田大志のオリジナル曲も使用予定。2023年の新作ALIEN MIRROR BALLISMのリクリエーション版。

▶上演時間：45～60分
▶出演者数：登録アーティスト1人+アシスタント2名
▶同行スタッフ：舞台監督か照明スタッフいずれか1名
▶現地スタッフ：舞台監督1名・音響1名・照明1名

▶上演環境：
(1)会場の広さ・形状：アクティングエリア9m×9m以上が望ましい。
(2)リノリウム：黒リノリウム希望
(3)必要機材、舞台セット：ミラーボール使用の可能性あり。

この事業で挑戦してみたいこと

●踊りは、運動が得意な特別な人がやるものではなく、誰にでも必ずある「身体」と、生きている限り何かしら動かしているこの「動き」の面白さを味わうことからダンスが生まれると考えています。これまで私のことを知っている表現者向けにワークショップを行うことが多かったため、作品や恍惚身

体論のメソッドが、私のことを知らない他の地域の方たちにどのように伝わるのか、伝えることができるのか挑戦したいです。そのことで作品や自身のメソッドを深めていく機会にしたいです。

●これまでアジア圏の武術などのリサーチをしてきました。その土地から生まれる武術や踊りから色々な身体観に出会いました。その土地の風土やそこで過ごす人たちの身体と出会い、ダンスを通して交流をしたいです。